

## 第3学年 音楽科学習指導案

日 時 平成15年10月3日  
場 所 矢沢中学校 音楽室  
学 級 3年A組(男 16人女 15人)  
指導者 佐藤結歌

### 1 題材 豊かな響きを求めて

### 2 題材について

#### (1) 生徒について

2年生で混声四部合唱の導入として「星の世界」に取り組み、アカペラの楽しみを味わっている。音楽を味わったり、より豊かな表現をしたいという意欲があり、授業では、学習の目標を理解して主体的に取り組もうとする。

音楽表現をするための技能面での支援や、音楽表現のためのポイントを示し、気づかせることによって、さらに豊かな表現ができる生徒である。

3年生では次のような題材で指導してきた。

「情景を味わって」…日本の歌・部分二部合唱・詩とイメージ

「世界の国歌・日本の国歌」…斉唱の美しさ・いろいろなメッセージを受け取ろう

「サウンドスケッチ」…いろいろな音を聴いてみよう

「春に」…混声三部合唱の響きを味わおう

「世界の愛唱歌」…国を越えて愛される歌を味わおう

#### (2) 教材について

混声四部合唱「草原の別れ」 阪田寛夫 作詞 大中 恩 曲

詩の中の言葉の色彩感が豊かで、歌詞の内容や曲想を感じ取って歌唱表現を工夫することができる。ゆったりとした中にも、言葉の持つリズム感が音楽全体の躍動感を生み出している。斉唱と四部合唱のコントラストをはじめとして、セブンスコードや経過音による音楽の表情の変化や、和声の中の各声部の役割、アカペラの混声四部合唱の醍醐味が十分に味わえる曲である。

#### (3) 指導の構想

今までの2年間の指導の中で次の点を工夫してきた。

①単位時間の中で、教題材平行して進めることで、授業の進度を確保し、ゆとりをもって生徒が内容を理解できるように工夫した。

②合唱に取り組む中で、一曲を完成させることを優先するのではなく、目標に応じてその楽曲のどの部分をどのように教材として取り扱うかを工夫した。

そしてこの題材では次のことをねらっている。

①歌詞の背景にある情景や、心情、楽曲のもつ表情などの味わい。

②自分で感じたイメージを中心に、曲にふさわしい歌唱の表現を工夫すること。

このねらいを達成するために以下のような工夫をした。

①言葉の持つイメージを感じ取り、絵画や色彩等、多様な表現のアプローチをさせ、イメージの世界を広げながら表現したいことを明らかにする。

②構造的側面を知覚することと、感性的側面を感じ取ることを両面から学習するように工夫した。

3 題材の目標、および題材の評価規準

	音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能
題材の目標	歌詞の内容と曲想、言葉のもっているリズム感と旋律とのかかわり、各声部の役割や全体の響きに関心をもって合唱表現をすることに意欲的に取り組む。	歌詞の内容と曲想、言葉のもっているリズム感と旋律とのかかわり、各声部の役割や全体の響きを感じ取って、表現の工夫をする。	歌詞の内容と曲想、言葉のもっているリズム感と旋律とのかかわり、各声部の役割や全体の響きを生かして合唱表現をする。
評価規準	「草原の別れ」の歌詞の内容と曲想、言葉のもっているリズム感と旋律とのかかわり、各声部の役割や全体の響きに関心をもち、曲にふさわしい合唱表現を意欲的にしている。	「草原の別れ」の歌詞の内容と曲想、言葉のもっているリズム感と旋律とのかかわり、各声部の役割や全体の響きを感じ取って、合唱表現の工夫をしている。	「草原の別れ」の歌詞の内容と曲想、言葉のもっているリズム感と旋律とのかかわり、各声部の役割や全体の響きを生かして、合唱表現をする技能を身につけている。

4 題材の指導・評価計画（5時間扱い）

時間	学習活動	観点別学習状況の評価		
		音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能
1	音楽のイメージの想起	歌詞の内容や曲の雰囲気に関心をもって、歌唱表現をしている。	歌詞の内容を感じ取って、情景を想像しながら表現の工夫をしている。	歌詞の内容から感じ取ったイメージを生かして、歌唱表現をする技能を身につけている。
2	各パートのメロディの音取り	進んで自分のパートのメロディを覚えようとしている。		自分のパートのメロディを正しいリズムと音程で歌唱表現している。
3 (本時)	表現の工夫や音楽の練り上げ		歌詞の内容と言葉のもっているリズム感と旋律とのかかわりを意識して表現の工夫をしている。	歌詞の内容と言葉のもっているリズム感と旋律とのかかわりを生かして、歌唱表現をしている。
4			声部の役割や全体の響きの調和を意識して、表現の工夫をしている。	声部の役割や全体の響きの調和を生かして、歌唱表現をしている。
5	まとめの合唱	本題材で学習した内容を生かして合唱表現をすることに関心を持ち意欲的に合唱表現しようとしている	本題材で学習した内容を生かして、表現の工夫をしている。	本題材で学習した内容を生かして合唱表現している

5 本時の指導 (3/5)

(1) 学習展開の構想

- ・主旋律をもとに、歌詞の内容や、言葉のもっているリズム感と旋律とのかかわりを感じ取らせて、表現の工夫をさせる。

(2) 目標

「言葉のもっているリズム感と旋律のかかわりを意識して歌おう」

(3) 展開

学習活動	教師の指導・支援	評価
<p>1 「草原の別れ」の合唱をする。</p> <p>2 歌詞の内容や曲の雰囲気について感じ取ったことを発表する。</p> <p>3 言葉のもっているリズム感と旋律のかかわりに気づく。</p>	<p>○ 言葉や絵を使って表現させる。</p> <p>○ 音楽のどのような内容からそのように感じるのかを考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉のもっている雰囲気</li> <li>・歌詞と旋律のかかわり</li> </ul>	<p>・言葉のもっているリズム感と旋律のかかわりをはじめとして音楽的要素に注目しているか。</p>
<p>言葉のもっているリズム感と旋律とのかかわりを意識して歌おう</p>		
<p>4 言葉のもっているリズム感と旋律のかかわりを意識して表現の工夫をする。</p>	<p>○ 言葉のもっているリズム感と旋律のかかわりを意識させながら歌わせる。</p> <p>○ 技能でつまづいている場合は指導する。</p>	<p>・言葉のもっているリズム感と旋律とのかかわりを意識して表現を工夫しているか。</p>
<p>5 学習したことを生かして合唱表現をする。</p>	<p>○ 言葉のもっているリズム感と旋律のかかわりを意識させながら歌わせる。</p>	<p>・言葉のもっているリズム感と旋律とのかかわりを生かして歌唱表現をしているか。</p>
<p>6 今日の授業で学んだことをふり返る</p>		